

スイシグ
SWING

函館協会病院広報誌

秋号

2014. 10. 1 No.20



■院長のひとり言■ ～気のむくままに～



若返り作戦決行中

院長
向谷充宏

去年の12月からエレベーターを使わず、階段で上り下りしているのだが、さすがにこれだけでは足りないだろうな。ということで、若返り作戦決行！

先ずは「還暦前祝い」ということで13年落ちの中古車を買った。探していた色は白かグレーだったのだが、「これしかありませんでした」とのこと「真っ赤」な車だと聞かされた時には「いい年して頭おかしいんじゃないの」と正直迷ったのだが。派手な色なので病院には乗ってこない、敢てね（本田か？）。30年ぶりのマニュアルシフトということで左足や左手を動かすのに忙しい。エアコンも付いてはいるが車内は暑いし、狭く窮屈なので乗り降りにも時間がかかる、「ヨイショ」と掛け声をかけて乗り降りしなくてはならない。お陰様で1.5キロほどの減量に成功？気持ち的にも若返ったような気がする。赤信号で止まった隣の車が「なんだオッサンか」という驚いた顔でこっち見る、（そうだよ、オッサンだよ）。



第45回

市民のためのリレー講座を開催しました

平成26年8月30日(土)、山内 英敬 内科部長によるリレー講座を開催しました。

今回は、“高齢者の救急医療～他人事ではない、すぐ近くにある危険～”と題して、高齢者の救急医療に関する現状や病気の特徴をふまえた代表的な疾患6項目（熱中症、脳卒中、心筋梗塞、肺炎、腸閉塞、入浴中の事故）について、その症状や予防策に関する講演を行いました。

当日は、100名を超える多くの方々にご参加いただき本当にありがとうございました。

今後も当院では、地域住民の皆さまの期待にしっかりと応えられるよう取り組んで参りますので次回講座もご期待下さい。沢山のご参加を心よりお待ちしております。

また、今回の講座は、1階エントランスホールテレビにて放映しておりますので今回参加できなかった方は、ぜひご覧になって下さい。



次に携帯をこれまでのガラケーに不満はなかったがスマホに替えた。全ての機能を使いこなすといふのは大凡無理だが、いくつかこれまでの携帯では出来なかった便利機能に満足している。ひとつは、車に乗っている時に電話がかかってきても、携帯画面をいっさい見ることなく、前を向いたままで電話に出ることも話をすることができるようになった。ハンズフリーって便利ね。若いスタッフにLINEも教えてもらった。何が楽しいのか良く判らんが、スタンプを貼ったりしながら、たわいもない会話を楽しんでいる。また、カメラの鮮明さには驚いた。これならもうデジカメいらないんじゃないかな？もうひとつの機能、知りたい事を喋ると、電話番号だろうが目的地までの道順だろうがすぐに調べられるという、「音声認識ソフト」が素晴らしい。一番苦手だった居酒屋の場所探しも「函館居酒屋○○」というだけで「ここに行きますか？電話をかけますか？」と返事をしてくれる。ちょっと感激だ。ただし、標準装備で、使いもしない「○○アプリ」や「○○ゲーム」の多さには辟易とさせられる。自ら解約手続きをしなければ、来月から自動的に課金されるというのも、まあ先方も商売だからしょうがないだろうが。

そして、海水魚飼育。9月中旬の大雪の時、夜中に停電があったのを覚えているだろうか。停電中、水槽濾過のための循環パイプの中に空気が入り、停電復旧と同時に溜まっていた空気を吐き出さなければ水槽循環と同時に水槽から海水が溢れてしまうのだ。灯油缶からポンプで灯油を汲むのと同じ原理だが、移す入れ物が溢れる前に自動的に止まるような仕組みを作るということだ。これは上手く作動しなければ海水が溢れて隣近所に迷惑をかけてしまう。回路を見直してみたり、パイプの高さを変えてみたり、少しばかり頭を使うことになる。

ちょっとやそっとで老けこんじゃいられないぜ。仕事だって頑張ってるぞ。当たりまえだのクラッカーってか、誰も知らんか？



■市民のためのリレー講座■

開催のお知らせ!!

「第46回市民のためのリレー講座」の開催が決定しましたので下記のとおりお知らせ致します。
今回は当院外科の先生による講座を予定しております。講師・テーマにつきましては決まり次第お知らせ致します。

日 時：11月15日(土) 13：30～14：30

場 所：函館協会病院 2階会議室・1階会議室

参加費：無 料

定 員：130名

※ご質問等ありましたら 0138-53-5511 病院総務課までお問合せ下さい。

たくさんのご参加をお待ちしております！！

CT装置の線量測定を行いました



協会病院 CT装置 Aquilion 64

放射線科で行う検査ではMRI検査を除きX線を使用しています。胸部などのレントゲン検査と同じようにCT検査もX線を利用していますので被ばくをする事になります。

・安心して検査を受けていただくために・

安心して検査を受けていただくため、2014年6月29日CT装置の線量測定を行いました。

これは装置が正しい量のX線を照射しているかを確認するための測定で、装置の寝台上に置かれたCT専用の線量計にX線を照射し、測定値より設定された照射量が正しく照射されているか評価します。

測定の結果、当院CT装置は正常に稼動していることが確認されています。

放射線科ではこのような装置管理を行うことで、装置の誤動作による無駄な被ばくを避けようと考えています。

当院CT装置で、腹部を撮影した場合の被ばく線量は5～15mSv（体型、撮影範囲、回数によって変わります）になり、CT検査の被ばく線量とされる5～30mSv（実効線量－放射線医学総合研究所）内で行なわれています。検査時の被ばくは、患者さんが利益（医療情報）を得る上でのことであり適正な量で撮影していますので怖がる必要はありません。



CT装置線量測定
(ペンシル型電離箱線量計)

放射線を使った診療は現在の医療において不可欠です。

当院では被ばく線量の評価、機器の管理を行い被ばく量の適正化（低減化）に向けたさまざま取り組みを行なっています。どうぞ安心してレントゲン検査をお受けになってください。ご不明な点は放射線科スタッフまで気軽におたずね下さい。

看護部 の取り組み

ふれあい看護体験を通して

平成26年7月30日、当院にてふれあい看護体験が行われ、夏休み中にも関わらず、函館稟北高等学校3年生10名が参加してくれました。その全員が高校卒業後は看護学校や看護大学への進学を希望している生徒たちでした。

生徒さん達は、白衣に袖を通し、向谷院長より「1日看護師」の辞令を受けて担当スタッフとともに病棟での看護体験にあたりました。体験中は、ストレッチャー乗車体験や血圧測定などのほか、実際に患者様の病床にて手浴や洗髪を行い、患者様から「ありがとう、頑張ってね」と励ましの声を頂き、緊張しながらも笑顔の溢れる時間となりました。

体験を通して、「看護師になりたいという気持ちがより強くなった」「現場で働く看護師の姿をみてかっこいいと思った」「患者様に声をかけてもらってとても感動した」などの感想が多くあり、看護部長・師長を交えた反省会では活発に意見交換がなされました。進路を選択する上で貴重な一日のお手伝いができたのではないかと思います。また、スタッフ達からは「初心を思い出した」「若さからパワーをもらった」という声があり、元気とやる気を補充させてもらう良い機会となりました。

5西病棟 看護副師長 菅原 由佳



看護部教育委員会から

リフレッシュ研修実施

看護部教育委員会が毎年主催している「新人看護職員リフレッシュ研修」が平成26年6月27日に函館西部地区（ベイエリア）で行われました。

院外研修で新人看護職員の研修・施設見学・情報交換を行い、チームワークを強めることを目的とした行事です。

当日は天候にも恵まれ、6名1グループで食事や散策・仮装（笑）を行い、日頃の緊張から解放された1日を過ごしました。



誘導看板設置のお知らせ ②

今年6月に電柱6本への誘導看板設置に続き、病院正面へとつづくT字交差点付近に立て看板を新たに設置しました。電柱への誘導看板同様、『白にブルーのライン』が入った同一デザインの看板ですので来院される際の目印としてください。



療養病棟 夏祭り



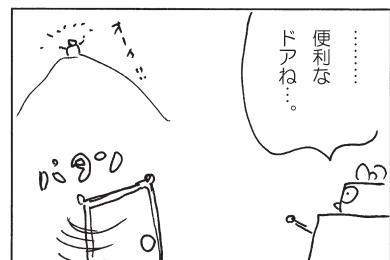
8月22日、当院の4階東（療養）病棟で、入院されている患者様に夏の行事を楽しんでいただこうと夏祭りが行われました。

みこしを担いで「ワッショイ、ワッショイ」と駆け回る職員と一緒に患者様・ご家族さまも掛け声合わせて盛り上りました！

更にはマジックショーの披露やヨーヨー釣り等のゲーム、綿菓子が振る舞われ最高の活気で溢れかえりました。



日々生活される中で、患者様が笑顔でいてくださったことが私たち職員の何よりの喜びとなりました。来年も楽しんでいただけるよう努力してまいります。



協会病院クイズ

日も随分と短くなり、秋の涼しさを感じられる気候になりましたね。

当院では秋になると、正面玄関前の栎の木が実をつけます。

栎の実には、肌の調子を整え、胃の健康を保つ効能があると言われているのですよ。

さて、当院の栎の実から、間違い探しです！ 3つの間違いを見つけましょう。



答えは、スイング第21号にてお楽しみに。



スイング第19号の答え：風車の有無、看板の柄、花の数

【函館協会病院外来診療担当表】

平成26年4月1日より

診療科	午前 午後	受付時間	診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
内科 消化器科 (内線 1700)	午前	8:15~ 11:30 (土のみ) 8:15~ 11:00	8:45~	潘 桑島 佐々木	榮浪 山内	佐々木 山内	潘 桑島 佐々木	榮浪 桑島 佐々木	榮浪 当番制	
外科 (内線 1800)	午前	8:15~ 11:30 (土のみ) 9:00~ 11:30	8:45~ (向谷院長) 9:30~	第1診 第2診 第5診	向谷 澤田 —	久木田 — —	三浦 向谷 —	澤田 久木田 ストーマ外来 (認定看護師福島)	三浦 — —	※セカンドオピニオン外来の受診を希望される方は、事前に外科外来までお問い合わせください。 ※第2診と第5診は、予約診療のみとなっております。
整形外科 (内線 1620)	午前	8:15~ 11:30	8:45~	多戸嶋	多田	戸嶋	多田	戸嶋	戸嶋	当番制 出張医 (3週目)
	午後	12:45~ 3:30	1:15~	手術	多田	戸嶋	戸嶋	多戸嶋 (2週目)		
皮膚科 (内線 1900)	午前	8:15~ 11:30	8:45~	眞鍋	眞鍋	眞鍋	眞鍋	院外往診	眞鍋	※午後 2:30~3:00までの間は、処置のため待ち時間となりますので予めご了承ください。(受付は通常どおりです。)
	午後	12:45~ 3:30	1:15~	院外往診	手術	眞鍋	眞鍋	院外往診		
泌尿器科 (内線 1610)	午前	8:15~ 11:30	8:45~	田沼	田沼	田沼	田沼	田沼	田沼	※毎週水曜日の午後 2:30以降は、院外往診があるため休診となります。
	午後	12:45~ 3:30 (水のみ) 1:15~ 2:30	1:15~	田沼	田沼 院外往診	手術	田沼			
歯科 歯科口腔外科 (内線 1911)	午前	8:15~ 11:30	8:45~	三橋澤本館 南	三橋澤本館 南	橋本宮本 出張医 (2, 3週目)	三澤宮本 出張医	三橋澤本 宮本	三橋澤本 宮南	※水曜日と金曜日の午後は、手術のため外来担当医が変わることがあります。 ※水曜日と金曜日は、夜間診療のため午後6:30まで受付を行います。
	午後	(月・火・木) 12:45~ 5:10 (水・金) 12:45~ 6:30	1:15~	三橋澤本館 南	橋本宮本 出張医 (2, 3週目)	三澤宮本 出張医	三橋澤本 宮南			
内視鏡センター (内線 1600)				榮山内	潘	榮浪潘	山内浪	潘山内	当番制	※内科又は消化器科を受診してください。
健診センター (内線 2800)		予約制		大槻	大槻	大槻	大槻	大槻	—	※健診希望の方は、医事課までお問い合わせください。

※第1・第3・第5土曜日は、診療しております。(第2・第4土曜日は、全科休診)

※外来診療が休診の場合でも通院中の方や紹介状をお持ちの方は、電話でお問い合わせください。



交通のご案内

市電

● 深堀町電停 徒歩5分

函館バス

深堀町バス停 徒歩5分
系統/5, 8, 7, 10, 10-1, 10-6,
14, 21, 41, 112自衛隊前バス停 徒歩5~6分
系統/5

車

● JR函館駅より 約15分

● JR五稜郭駅より 約15分

● 函館空港より 約20分

無料巡回バス

無料巡回バスを運行いたしております。
停留所・時間など、詳しくは当院まで、
お問い合わせください。

病院理念

地域住民に信頼され、地域とともに歩む病院を目指します

- 社会福祉法人として、医療・福祉の提供を通して社会貢献を行います。
- 病院の能力を結集し、高度医療および救急医療を提供します。
- 病院職員の総合力を生かし、安全な医療・看護を提供します。
- 患者さまのプライバシーを尊重し、思いやりのある医療・看護を提供します。
- 病院職員全員の、医療技術等の向上を目標とともに次世代の人材を育成します。

社会福祉法人 北海道社会事業協会 函館病院

函館協会病院 【略称】

〒042-0935 北海道函館市駒場町4番6号
TEL:0138-53-5511 FAX:0138-51-8421<http://www.hakodatekyokaihp.com/>

○発行元
社会福祉法人北海道社会事業協会
函館病院
平成26年10月1日

2014
20号

○発行責任者
向谷充宏
○編集
固本智典・加藤康次
○印刷所

株式会社
長門出版社印刷部